

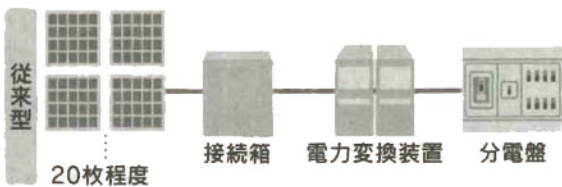
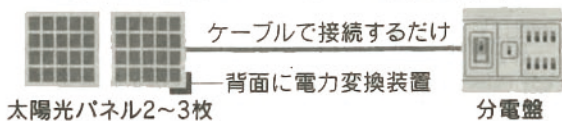
# 金属製屋根メーカーのカナメ

## 小型太陽光システム参入

### 住宅用 設置容易・コスト半減

金属製屋根メーカーのカナメ(宇都宮市、吉原正博社長)は、住宅用の小型太陽光発電システム事業に参入した。一般家庭の電力消費量の一部を賄える、出力1キロワット以下の小型タイプ。付帯設備を不要にし、一般的なシステムに比べて設置コストを半減できるという。日中に電気を使う家庭向けに売り込み、年間600件の受注を目指す。

カナメのマイクロソーラーは設置が簡単



カナメが受注活動を始めた小型太陽光発電システム「マイクロソーラー」屋根に設置できる。

一般的な住宅用太陽光発電システムは、発電した直流の電気を交流に変換する「電力変換装置」が必要。カナメ製はパネルの裏側に電力変換装置を一体化し、ケーブルを家庭の分電盤に接続するだけで使える。

カナメが発売する「マイクロソーラー」

換装置は外部企業から調達。システムの設計や検証はカナメが行った。今回の小型版で取りつける太陽光パネルは、2〜3枚程度を想定。価格は枚数によって異なるが、30万円から80万円程度。

新システムでは、日中に家庭で電気を使う家族や高齢者の需要を見込む。太陽光で1日の電力需要の3分の1程度をまかなえるため、電気代を節約できるとしている。

カナメは新システムを工務店や電気工事業者向けに販売する。住宅の屋根にパネルを設置するためには、電力会社への申請が必要で、手続きや工事は工務店などが手掛ける。

カナメは当初、売電目的とした市場が先行した。しかし、買い取り価格が下がり市場は縮小傾向にある。

カナメは当初、売電目的で多くのパネルを屋根に取りつける住宅向けを想定して参入したが、市場環境が変化し、自家消費に限った住宅用太陽光発電システムのニーズが高まると判断。従来の大型機種に加えて、小型版のシステムも投入することにした。

カナメの18年11月期の売上高は38億円。太陽光発電関連事業は全体の2割を占める。(川上梓)